

1931

Matsumura, ShonenPRIVATE LIBRARY
~~OF WILLIAM L. PETERS~~

6000 III. Insects of Jap. Empire

Ephemeroidea pp: 1465-1480

第二一 蜉 蝣 II EPIHEMERIDA

一 蚊科 *Siphonuridae*

前翅の第二肘脈と第一補助脈とは相平行するも基部にて廣く分支し、前翅の徑脈は全部明瞭にして、細く發達し、第一補助脈(A)は分支せずして、多くの横脈を有す。後翅の徑脈はその柄節より長し。雄の鍬子に四節ありて、第一節は短かし。二本乃至三本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの十種あり。

イハテカゲロフ……………(二)

Kahmora swinhonis Matk.

體は暗黄、頭は黒色、頭頂は黄色。前胸背の兩側に黒斑條を具へ、その外側は黄色。各腹節の背上に三角形の二黒斑ありて、下方に至るに



♀

第二好蝶目

臨ひ長形となる。腹面の兩側にも同様の黒斑列あり。尾毛は灰黄、體長よりも少しく長し。脚は鮮黄色、但し前肢は基部及び踵節を除き暗色。前翅は透明、脈は暗色、副前縁脈は黒色、中央の帶狀紋は暗色、前縁室の外縁に近き部分に網狀紋あり。後翅の後縁は少しく暗色を帯ぶ。開翼一寸三分。これは五月下旬若手に捕獲せり。

(三) 本州

スカシカゲロフ……………(二)

Kahmora japonica Matk.

體黄白、頭頂は四角す。觸角の末端白色。胸部灰白。前翅は透明、少しく黄色を帯び、翅脈黒。後翅も亦透明、前縁の翅脈は黄色。各腹節兩側の斜條は黒色、腹側にも黒條あり。尾毛黄褐、各腹節部は暗褐。脚は黄色、前肢は基部

♀



を除き暗褐。開翼一寸二分内外。河上に普通なる種類にして、八月頃現はる。

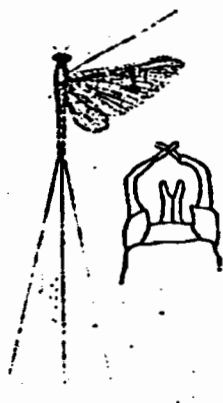
(四) 北海道、本州、九州、臺灣。

エソカゲロフ……………(三)

Kahmora japonica Matk.

雄、モンカゲロフに酷似すれども、その異なる所は、翅脈は暗褐なるも甚に細く、前縁室の横脈は中央放線十四五例ありて、第一肘脈と第二肘脈との間室に五脈を具へ、何れも一肢脈を内縁に送る、内縁の平行室には四脈あり、後翅の外縁は少しく暗色を帯び、腹背の斑紋は一層列然し、鍬子末端の二節は稍々同長、末端節は淡色、陰莖葉は長く、基部にて相接せり、前肢は黄褐、雌は雄よりも淡色。開翼(雄)一寸一分。

♀



一四六七

(雌)一寸五分内外。これは札幌地方に普通なるも、本州には産せざるが如し。

〔20〕 北海道。

コウシユンカゲロフ

Ephemera kochiuehshu Mats.

雌、體は淡黄褐色。單翅の周圍及び腹眼は黑色。前胸及び中胸背の兩側に暗黄の一條を穿す。初めの四腹節に各一、及の黒短線を縱走し、終りの四節には五本の黒短線を具へ、兩側に暗色線を併列し、腹面には更に一、及の暗色線を縱走す。尾毛は黄白、體より長く、關節部は黒褐色、細毛は短かき。脚は黄色、前肢は黄褐色、中肢は透明、少しく黄色を帯び、前縁は黄褐色、中央に一、兩紋を具へ、前半部の横紋は暗色にして

♀



太し、間張一寸、これは恒春地方に稀ならず

〔21〕 臺灣。

クチヤロカゲロフ

Ephemera kueichuanis Mats.

雌、體は暗黄。單翅の周圍及び腹眼は黑色。前胸背の兩側は暗色を帯び、中胸背の兩側には漆黒の一縱線を穿す。腹背の兩側に暗色の太き一條を、腹側には斷續せる暗色の二細線を縱走す。尾毛は體より少しく長く、灰色の細毛は本編に至るに従ひ長く、關節は少しく暗色を呈

♀



するも、何れせず。前肢は暗褐色、初めの三附節及び基節は黄色、間張一寸一分、これは八月中旬、岡山縣野路湖にて採集せられたり。

〔22〕 北海道。

イツスチカゲロフ

Ephemera orientalis Mll.

雌、翅は透明、少しく黄色を帯び、脈は暗色。前翅の中央その他に散在する小紋は黑色、前縁にては中央紋迄横脈ありて、初めの二脈及び終りの一脈を除き何れもその兩側暗色、中央の帯狀紋は弓狀をなして外方に曲る、其紋の終りに外側及び翅底に近く各一小紋あり。後翅の外縁

♀



及び後縁は暗色、脈は翅と同色なるも、中央の紋は黑色、胸側に各一、黒條ありて、光澤を帯ぶ。腹背には四條乃至五條の黒縱線を具へ、兩側及び下面にも黒縱線あり。前翅は基部を除き暗色、間張九分内外、これは東京に普通なり。

〔23〕 本州。

カラフトカゲロフ……………(七)

Polyura neohibernica Mat.

雄、體は灰黄、複眼は黒色。頭頂は暗褐、前胸背の兩側に黒褐の各一縱條を具へ、中胸背は灰色、光澤を帯び、兩側は黒色。各腹節の兩側に二黒線を具へ、第六、七、八節には各三黒線を繋ぎ、兩側及び腹節の兩側にも、黒線と並走す。幼子は暗黄、四節より成り、本端の一節は短小、兩者は特曲して本端にて相交す。尾毛は體の約一倍半長、暗黄、各節の本端は暗色、本端には灰白の短小毛を密生す。脚は淡灰黄。



末端は暗色、前肢は暗色、尾節の大部は暗黄、開張一寸二分内外、これは七月下旬樺太にて捕獲せられたり。

(七) 樺太。

第二 好遊目

モンカゲロフ……………(八)

Polyura strigata Lat.

雄、幼暗黄、後頭黄白色、複眼の周圍及び複眼は黒色。前胸背の兩側は黒褐、前翅透明、少しく暗色を帯び、翅脈及び中央の横條は暗褐、後翅の外縁及び内縁は暗色。各腹節の兩側に暗色の太き斜條あり、尾毛は暗黄、腹節部は多少暗色を帯ぶ。脚は暗黄、棘節及び基節は黄色、體は暗



色、開張一寸内外、これは東京近傍に六月下旬捕獲し得べし。

(八) 本州。

二 縞野蜉科

Polyura hideo

前科と異なる所は、前翅の第一補助脈は一度分支し、翅の縁に横脈を缺き、後翅の分脈はその柄節より短かき若くは同長、雄の幼子は三節乃至四節より成り、第一節最長なるにあり。本乃三本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの三種あり。

イヨシマカゲロフ……………(九)

Polyura hyonin Mat.

體は黄色、少しく綠色を帯ぶ。頭は突出し、前頭複眼の前方兩側、複眼等は黒褐、前胸背の兩側に各暗斜條を縱走し、側面に紅褐の一縱線あり。腹節に斑紋を缺き、尾毛の各關節に暗色點

♀



一四六九

あり。翅は半透明、縁黄を帯ぶ。前翅の前縁は褐色、これに十五六個の透明紋を具へ、二十四五個の横脈あり。縦脈の大部は地色なるも、横脈は暗褐、中央に近く暗色の判然せざる四紋あり。後翅の脈は地色。前腿節は基部を除き暗褐、同腿節の基部、本端、同各附節の本端（爪節を除き）は黒色。開数七分五厘、九分五厘。これは伊豫地方に普通なり。

本州、四国。

フタヲシマカゲロフ (一〇)
Thaenanthus shima Mats.

體は黄色。取眼間、觸角基、後頭の上側紋、複眼、各腹節帯(背面を除き)、腹背の縱紋、腹面の二紋列、兩側の三角紋列等は黒色。尾節に黒縱條あり。雌の四角形をなせる生毛板の後縁



は端直。雄の狭子は黒色、四節より成り、稍々八字形を呈す。尾葉突起は黒色、本端の三分の一は暗黄、腹部の約一倍半乃至二倍長あり。脚は黄色、前腿附節は黒色、開数一寸一分内外。これは八月上旬乃至下旬札幌及び青森地方に普通なり。

北海道、本州。

三 小好蜉科
Ephemerellidae

前翅の第二肘脈と第一補助脈とは基部にて相平行す。後附節は動き得べき四節より成る(第五節を有する場合には第一節は肘脈と相癒合して動かす)。前翅は透明、中央脈は分支し、脈は多く、第一肘脈と第一補助脈間に二三の投間脈を有す。三本の尾毛を有するも、稀に二本の尾毛を有するものあり。後翅は發達す。本邦學名を有するもの七種あり。

イシヤマカゲロフ……………(一一)
Drepanella tsuyama Mats.

ホシカゲロフに類似すれども、その異なる所は、體は栗色、翅基部淡色ならず、各腹節の後縁は暗色、尾毛は半透明、各腿節は灰色、狭子



末端節は筒状に曲る、陰茎は末端にて分叉するも細し。脚は橙と同色、附節は黄白、開張五分。これは八月上旬札幌石山にて捕獲せられたり。

①—北海道。

ホシコカゲロフ……………(二)

Dryinella punctinotus Mats.

雄、體は黄褐、複眼、觸角及び腹眼の周圍は暗褐、後脚部淡色、胸脚に暗色條及び暗色紋あり。腹端は少しく暗色を帯ぶ。尾毛は白色、各脚節に黒點を帯び、體の約一倍半長あり。翅は黄白、三節より成り、端直、末端節は短かく球桿状を呈し、少しく褐色を帯び、陰茎は分叉す。體下及び脚は黄色。翅は透明、横脈は数あり。



判然せず、翅端の前後室は網状を呈す。開張五分。これは七月中旬札幌地方に普通なり。

①—北海道。

第二好蝶目

カラフトコカゲロフ……………(三)

Ephemera sachalinensis Mats.

雄、體は黄褐、頭及び複眼は黒褐。鞭毛状の觸角は灰白、胸背は光澤ある栗色。腹部末端の約半部は栗色、尾状突起は灰白、基部の四分の一は暗色、中央の尾毛は兩側のものより長し。翅子



の中央は梨葉形に縮れ、第三節は太く、第四節は細し。脚は淡色、前腹節及び附節は暗褐。開張九分内外。これは七月中旬札幌地方に稀ならず。

①—樺太、北海道。

四 豆好蝶科 *Isotidae*

前科と異なる所は、前翅の中央脈は單一にして分叉せず、横脈は少なく、後翅は微小若くはこれを缺如し、兩翅とも透明なるにあり。常に二本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの九種あり。

スズキヤマカゲロフ……………(四)

Aeschnella murakabei Mats.

體は灰褐、胸背の三縱條及び尾端は淡色。尾毛は暗黄、體より長く、圓節紋なし。雄の翅子は三節より成り、第二節は長く、中央にて肥大す、第三節は基部にて縮る。脚は暗黄、附節は短かく、四節、第三節小、前腹節は腹節と殆々同長



後者は太し。翅は少しく暗色を帯び、後縁には短かき細鞭毛を被す。開張五分。これは京都に於て捕獲せられたり。

一四七一

① 本州。
 附書一葉に記載せる蜂蟻は全部乾燥標本なれば、生時の色彩と異なるやも知れず。

シロハラマメカゲロフ……………(二六)

Ischnura japonicus Shiba

體は(雄)紫色。(雌)黒褐。前翅透明、少しく白色を帯ぶ。翅は透明、脈は光線の具合にて白色。第一腹節黒褐、第二節暗黄、第三乃至第五節は白色、闊節は暗色、尾端の二節及びその前節の後半は黒色。鍬子は白色、末端節は第二節



よりも小、第三節は第三、四節を合したるものよりも長し。脚は黄色。開張五分内外。本邦最小の蝶の一にして、中夏普通なり。

② 北海道、本州、九州。

附書 これは従来歐洲産の *I. hyperantilla* L.

と同定せられたれども、この雄の鍬子の末端節は第三節よりも遙に短かく、末端にて球形状を呈するを以て容易に區別し得べし。

キヤウトフタハマメカゲロフ……………(二七)

Clotus kyotonicus Shiba

體、脚は淡橙黄色。前翅は透明、光線の具合にて紅紫色を現はす。前縁は橙黄、脈は淡黄、徑



腹下の第一横脈はその直下の横脈とその長さ以上離る。前縁の外端には五横脈あり。胸背の中尖は栗色。腹背は初めの二節と尾端の二節を除き栗色、闊節部にて濃色。尾毛は體の約二倍半長、白色。闊節にて少しく暗色を帯ぶ。脚は黄色。前翅節は少しく暗色を帯ぶ。開張三分六厘

これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

① 本州。

附書

フタハマメカゲロフ(フタメカゲロフ)(二七)

Proclitus nipponicus Shiba

體暗褐、胸側淡色。腹部に暗色紋を有するものと有せざるものとありて、變化多し。前翅透明、少しく暗色を帯び、後縁には暗色の短かき細線毛を裝ふ。脚は暗黄。尾毛は灰白、基部の半分に



暗色輪環あり、雄の鍬子は三節より成り、末端節は微小なり。雌にては前翅の前縁は黄褐、その内に白色脈あり。開張四分五厘。五分、八九月頃、現はるゝ小形の種類なり。

② 本州。

附書 この属の *Clotus* と異なる所は、横脈下の第一横脈とその直下の横脈と前々直線をなして相合するにあり。これは従来 *Clotus nipponicus* Shiba と同定せられたるものなり。

タマガハフタハマメカゲロフ……………(二八)

Proclitus taiwanensis Shiba

雌、體は淡灰黄。頭頂には淡褐色の二縱條を具へ、後縁にも同色の帯あり。單複兩眼は黒色。胸角第二節の末端及び針状毛の基部は少しく暗色を帯ふ。各腹節の兩側に暗色の一斜條あり。尾毛の各腹節は黒色。前翅透明、少しく黄色を帯ふ。

♀



帯び、前緣室及び副前緣室は褐色、横脈一部の兩側は透明(透明紋を散在す)、横脈は黄色。後腹節の末端に近く一褐色紋を具へ、前腹節は黄褐色。開張六分内外、これは東京玉川地方に稀ならず。

①本州、九州。

アイノフタバマメカゲロフ……………(一九)

Pseudodon alno Mats.

雌、體は灰黄褐色。胸背は淡色。各腹節の後縁は少しく暗色を帯び、尾端は淡黄、尾毛は體の約二倍半長、白色、基部は暗色を帯ふ。前腹節及

第二一 蜉蝣 日



♀

び同腹節の末端並に附節は暗色、全腹節は淡色。翅は透明、光線の具合にて紅色を帯び、前緣室の末端、縱脈並に横脈は暗色を帯ふ。開張四分五厘、これは七月中旬札幌にて捕獲せられたり。

②北海道。

附節、この屬の *Cicada* 屬と異なる所は、前翅縱脈間の末端に一及の短かき控間脈を有するにあり。

五 双蜉蝣科

Siphonuridae

前科に似るも、その異なる所は、後附節に動き得べき五節を具へ、肛角室(第一附脈と第二附脈間)に多数の八字形をなせる控間脈を具へ、(その分を支するものも少なからず)、前胸背の發達せるにあり。これは常に二本の尾毛を有す。本邦學者を有するもの十種あり。

トワダフタバカゲロフ……………(二〇)

Amelita tsunehisaka Mats.

雌、體は黄褐色。頭は黒褐色。各腹節の後縁は廣く暗褐色。尾毛は淡黄、體の約一倍半長、各腹節は細く暗褐色。翅は透明、脈は灰黄、前緣室の外端には二細脈列ありて、網狀を呈し

♀



り。體は黄色、前肢は淡黄褐色、前腹節は附節と同長。開張六分。これは七月下旬十和田湖にて

一四七三

捕獲せられたり。

(65) 本州。

マヘゲロフタカゲロフ……………(66)

Chironomus ocellalis Mitsu.

雄、體は淡褐色、光澤を帯び、翅及び脚の着部は黄色、腹部は灰黄、各腹節の後縁は暗色、第八、九節は暗褐色、翅は透明、脈は栗色、前翅前縁の

(a) 前肛角の脈相



中央に五脈ありて、その間室は暗色、縁紋の部分には三列の暗色脈ありて、柄杓を呈し、これより末端迄暗灰色を帯ぶ、後翅前縁室の横脈は太く、前縁及び翅底は強く暗黄、脚と約と同長、前肢の第一跗節の下方に小齒を列ぬ、尾毛は體の約二倍長、赤褐色、脚節部は少しく暗色を帯ぶ、幼子は末端細く、楕円字形に曲り、陰莖葉は上向き、又狀を呈す、開張八分内外、こ

れは何れの地方にも普通なり。

(66) 北海道、本州。

シロフタカゲロフ……………(67)

Chironomus japonicus Uthner

翅は透明、脈は光線の具合にて判然せず、前縁及び前前縁は少しく黄色を帯び、前縁には約三十内外の横脈を欠ふ、體は灰黄、雌にては少し

(b)



く暗灰色を帯び、各腹節の基部に細き暗色帯あり、尾端に至るに隨ひ細まる、脚は暗褐色、各前跗節の基部は黄色、尾狀突起は白色、基部は黑色、幼子は黑色、細く彎曲す、開張一寸二分、十四分、これは六、七月の頃終ならず、

(67) 北海道、本州、四国。

スズキフタカゲロフ……………(68)

Dipteromimus suzuki Mitsu.

(三三)

雄、體は灰黄、頭は暗褐色、單眼は灰白、前胸背後縁部及び後胸背の中央は黄色、各腹節の後縁及び兩側の斑紋は暗色、これは尾端に至るに隨ひ淡色となる、背、その下方にも各一縱線を並

(c)



走す、第九節には斑紋を缺く、幼子は彎曲し、末端にて交又し、少しく暗色を帯ぶ、三尾毛の内、中央のものは遙に短かく、黑色、脚の各節は少しく暗色を帯び、前肢は體長よりも長し、開張一寸内外、これは京都にて捕獲せられたり。

(68) 本州。

附言 この属の *Dipteromimus* と異なる所は、後跗節は跗節より長く、中央の尾毛は兩側のものより遙に短かしと雖も、體よりは遙に長きにあり。

オホフタカゲロフ……………(七)

Siphonura granulosa Mats.

體翅灰黄。前翅は透明、雌にては少しく黄色を帯び、殊に翅底に於て然りとす。前縁の中央にある線紋は暗色。前縁の水端脈は網目状をなす。後翅前縁の基部にある突起部は低し。各腹節には暗色帯あり。尾毛は灰白、基部の三分の一は暗色、雌にては腹節より少しく、雄にては蓋に長し。雄の鉄子は四節より成り、第二節最長、末端の二節は小、第二節の内側の一端に一齒あり。開張一寸一分。これは四月下旬靜岡地方にて渡邊千何氏の捕獲せるものなるが少なからず。

♀ (a) 雄の鉄子



本州。

チヤウザンフタカゲロフ……………(三)

第二 好 蝶 目

Siphonura japonica Mats.

雄、體上は暗褐、體下は黄褐。頭は黒褐、觸角は暗黄、翅は透明、脈は暗褐、前縁末端の四分の一は少しく暗色を帯び、内縁にある平行脈間には五横脈あり。後翅の外縁は少しく暗色を帯ぶ。各腹節の後縁は廣く暗色、兩側にて廣し。



尾毛は體の約一倍半長、暗色。脚は黄色、跗節は四節、前肢は暗色。鉄子は四節、第三節は第四節より長く、第二節は第三節の二倍長。開張八分。これは札幌定山溪にて捕獲せられたり。

北海道。

スカシオホフタカゲロフ……………(三)

Siphonura nikabishi Mats.

雄、體は灰黄、單眼の周圍は黒色、頭頂の紋紋は栗色、觸角の二帯は黒色。各腹節の後縁は暗色、兩側にて狭がる。尾毛は灰黄白、體の約一倍半長あり。基部の三分の一は暗色、各腹節は暗色を帯ぶるも、基部にては判然せず、中央には尾毛の痕跡あれども、微小なり。脚は暗黄。體下は栗色、腹面の中央に暗黄の太き縱條を具す。雄の二つの陰囊葉は黄色、各卵形を呈す。開張一寸二分内外。

北海道。

附言 オホフタカゲロフに酷似するも、前翅前縁の中央に暗色紋なきを以て、容易に區別することを得之し。

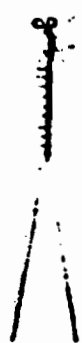
スマレフタカゲロフ……………(三七)

Siphonura violacea Mats.

雄、體は黄褐。頭頂の二紋及び中胸背の兩側に暗色帯あり。各腹節の後縁は暗色、これは



後半にては細し。尾毛は灰白、基部は暗色にして、少しく黃色を帯び、中央の尾毛は微小にして、黒色。翅は透明、脈は淡黄なるも、餘り判然せず、肘間室に六脈ありて、その内第一、二、四脈は分叉す。前肢は暗褐、肘節の本端は



黄白、中後の前肢は黃色、開張一寸二分、これは九月上旬札幌にて捕獲せられたり。

北海道

六 尾蟬科 *Ectonuridae*

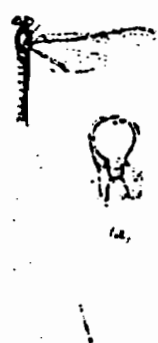
前科に似れども、その異なる所は、前翅の肛角室に二双の投間脈を具へ、その内方にある一双は常に長形なるにあり。常に二本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの十七種あり。

サツボロヲカゲロフ (ツタツカゲロフ) (二八)

Chinyra kuiperiana Muls.

雄、體は光澤ある暗褐。腹部は暗黄、前翅は無色透明、翅底は少しく暗黄を帯び、翅脈黄褐。

雄の幼子



前縁にあるものは少しく黒褐を呈し、前縁の中央紋及び外縁に近き部分は暗褐にして、黒褐の横脈多し。後翅前縁基部にある三角形附屬物の上方は暗黄、前肢黒褐、中後の前肢は黄褐。腹

背黄褐、腹下淡色、幼子及び陰莖葉は暗色。雌體赤褐、前翅前縁の横脈は黒色、開張九分一寸。札幌地方に稀ならず。

北海道

ヲナガヲカゲロフ……………(二九)

Chinyra munkiana Muls.

雄、體は暗褐、中胸背は赤褐。腹部は灰黄、各節の後縁は暗褐、兩側は三角形に肥大し、第八、九の兩節は暗色。尾毛は體の約三倍半長、栗色。幼子は四節より成り、本端節は次節よりも短

雄



し。翅は透明、脈は暗色。前翅前縁室の脈は太く、中央に脈相集合するを以て、暗色紋を有するが如し、翅底の一枚は暗色。後翅の前縁基部は三角形に突出す。脚は暗黄、腿節の本端及び中央は少しく暗色を帯び、開張七分内外。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

本州。

ヘカチヲカゲロフ……………(三〇)

Cinygmula hawaiiensis Matz.

雄、體は灰黄褐。腹節の周圍及び複眼は暗褐、胸背の兩側に淡黄紋あり。腹部は淡黄、各節の後縁は廣く暗色なるも、兩側にて細まる。尾毛は體の二倍半長、各胸節は少しく暗色を帯ぶ。翅子は四節より成り、第二節最長、第三節は第四節の二倍長あり。翅は透明、脈は黄色。前翅



前縁室の本端にある脈は少しく網状を呈し、翅底の不行脈に五横脈あり。脚は灰黄、前肢は少しく暗色を帯び、脛節より遙に長く、第一跗節は第二節と約同長、第三節最長。開張七分。これは五月下旬札幌地方に普通なり。

北海道。

第二一好婦 日

附言、この属の *Cinygmula* と異なる所は雄前胸節の第一節は第二節よりも少しく短、第三節最長、同胸節は脛節よりも遙に長きにあり。

ユミモンヲカゲロフ……………(三一)

Macromia curvivalis Matz.

雄はエルモンヲカゲロフに酷似すれども、その異なる所は、前翅前縁の基部に彎曲せる短かき黒帯を裝ひ、胸背は全部灰黄、尾端の三節は灰



黄褐、前胸節の中央に一暗色紋を具へ、脛節は脛節と同長(彼にては脛節遙に長し)、後翅前縁の基部に黒線を有せず、翅子は楕円形を呈して相交又し、末端節の大節と同長なるにあり。開張一寸。これは東京玉川にて七月下旬捕獲せられたり。

本州。

ハナゾノヲカゲロフ……………(三二)

Macromia hammondi Matz.

雄、體は光澤ある暗褐。腹節は灰黄。腹部の兩側に灰黄紋を具へ、初めの二節には一縱溝を具へ、以下には五條の細き縱溝あれども、判然せず、各節の後縁は少しく淡色。翅子は長く、弓状に彎曲す。尾毛は腹部の約三倍長あり。前翅



は體長よりも少しく長し。翅は透明、脈は暗褐、前縁室の外端三分の一及び外縁脈は暗灰色。後翅の縱脈は褐色なるも、横脈は餘り判然せず。外縁脈は暗褐。開張一寸内外。これは京都花園にて捕獲せられたり。

本州。

エルモンヲカゲロフ……………(三三)

Macromia taikana Matz.

體は白色、少しく黄色を帯ぶ。複眼は暗褐。胸

一四七七



開張九分内外。これは八月下旬札幌地方に普通なり。

⑤ 北海道。

アラバツカゲロフ……………(三七)

Heptagenia viridis Mats.

亞成虫の雌、體は灰色、胸節は少しく棕色を帯

子



ぶ。頭は黄褐、單眼及び複眼は暗褐。翅は半透明、灰白、前翅の前縁室は綠色、既に翅色と同色なれば餘り何れせず、光線の具合にて紅色を帯ぶ、前後翅何れも後縁に灰色の長絨毛を密生す。尾毛は體の約一倍長ありて、胸節部は細く暗色。附節は暗褐。開張八分。これは七月下旬札幌にて捕獲せられたるも稀なり。

⑥ 北海道。

スズキヲカゲロフ……………(三八)

Kaerria sushukilla Mats.

雄、翅は透明、前翅の肩前縁及び徑脈に跨りて翅底に暗褐の二紋を裝ふ。體は光澤ある黒褐、顔の兩側に橙黄紋あり。觸角は栗色。複眼部、胸節及び附節は黄褐。腹節は灰色、各節に

合



三角形の栗色紋あり、尾節は黒褐、後縁は稍々突出す。伏子及び尾毛は栗色。前者末端の兩節は小にして、稍々同長、陰莖葉は卵形を呈する

も、末端に齒狀突起を裝ふ。尾毛は體の約四倍長あり。前附節の第一節は次節の約五分の一長あるに過ぎず。開張八分。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

⑦ 本州。

附言—この種は *Trithopoda* に類似するも、その異なる所は、雄の尾毛は體の四倍長ありて、前附節の第一節は第二節の五分の一長に過ぎざるにあり。

タイワンシロヲカゲロフ……………(三九)

Ilithopoda formosula Mats.

體は淡黄褐。單眼の周圍及び複眼は暗褐。中胸背に灰白の長方形紋を具す。腹背は少しく褐色を帯ぶ。尾毛は白色、基部にて各胸節部は細く褐色を帯び、體の約三倍長あり。尾節の末端は少しく褐色を帯ぶ。翅は透明、前縁の基部及び

合



その斜肢の基部は暗褐、前縁は少しく黄色を帯び、他は透明、脈は少しく灰黄を帯ぶ。開張六分。これは七月上旬似春にて捕獲せられたり。

②—臺灣。

ヨツホシヲカゲロフ……………(20)

Ichthyophaga a-punctigera Mats.

雌、體は黄褐。觸角及び頭頂は暗褐。單眼の周圍及び複眼は黒褐。胸背の兩側縁は暗褐、後胸背及び各腹節の後縁は黒褐にして、兩側にて廣

♀



し。體下及び尾は黄色。中後兩胸片に各二黒點あり。翅は透明。脈は少しく黄色を帯ぶ。前翅に於ける前緣室基部の脈は一層判然せず。尾毛は灰黄、各腹節は少しく暗色を帯び、體の約二倍長あり。開張五分。これは七月中旬信州にて捕獲せられたり。

②—本州。

Your Name

and Address

(Include ZIP code)

Michael Hubbard
Laboratory of Aquatic Entomology
University P. O. Box 111
Florida A & M University
Tallahassee, Florida 32307

716

NATIONAL AGRICULTURAL LIBRARY
REQUEST FOR PHOTOCOPYING SERVICE
ORDER RETURNED BECAUSE:

- Advance payment required.
- Insufficient funds.
- Not in Library Collection.
- At Bindery.
- Incorrect Reference.
- Other.

Remit \$ _____
Remit \$ _____

DO NOT WRITE IN THIS SPACE

3230

NAL CALL NO.

422.6

M425

AUTHOR(S) Shonen

MATSUMURA

TITLE OR BOOK OR PERIODICAL

6000 Illustrated Insects of Japan - Empire

TITLE OF ARTICLE

Section of Ephemeroptera - includes pages

VOLUME

NO.

DATE OF ISSUE

1951

PAGES INCLUSIVE

465-480, 472, 473

I desire Photocopy Microfilm reproduction in place of loan of publication or manual transcription and solely for research. I will not further reproduce this material without express permission of the copyright owner. If any: I am not purchasing the reproduction, and the fee is exclusively for your services as my agent in copying upon my request. I assume full responsibility to any copyright proprietor for your acts in so copying.

U-427 (REV. 8-59)

(SIGNATURE REQUIRED)

APR 24 1951

APPROPRIATION WORK COPY

Payment of \$ _____ made by

- Cash
- Check
- Money Order
- Nat'l. Coupon
- UNESCO Coupon
- To be billed